

# 第18回 木造耐力壁ジャパンカップ

## 滋賀職能大チームが 驚異の4連覇!

木造耐力壁ジャパンカップとは、実物大の木造耐力壁を組立て、どちらか一方の壁が破壊するまで、互いに引き合わせて対戦（強さを競う）させる大会です。また、強さを競い合うだけではなく、コストパフォーマンスやデザイン性など、総合評価の最も高い耐力壁には、ジャパンカップ優勝杯が贈られます。

滋賀職能大チームは、8月8日(土)～9日(日)の予選に7位通過したものの、翌10日(月)の決勝戦で東京大学のチームに勝利し、見事に「総合優勝4連覇」を達成いたしました。また併せて「環境部門賞」も獲得しました。



組立て時間はなんと16分！  
俊敏な動きも披露できました。



「Aegis(イーゼス)」を率いて4連覇に挑戦した4人のメンバー。

# 第19回 びわ湖クルーレス・ソーラーボート大会

## 滋賀職能大チームが 大健闘の2位!

8月22日、23日に開催された「第19回びわ湖クルーレスソーラーボート大会」に電子情報技術科の学生が出場しました。1日目は、曇りで太陽パネルの電力が不足し、途中リタイアしてしまい3位でした。2日目は、風の影響で波が高くなり、多くのチームにトラブルが発生する荒れ模様の展開となりました。

私たちの船「秀次丸Ⅱ」も、電子回路や船体に不具合が発生し、船を止める場面がありました。しかし、学生達は手際よく修理し、最後まで走らせました。2日目のがんばりで、見事に**準優勝**を勝ちとることができました。



受賞を喜ぶチームメンバー

■クルーレス・ソーラーボートとは「太陽（電池）を動力として、乗組員が乗船せず、自律航行する船」のことです。普及部門と先端技術部門の2部門に分かれ、毎年夏に琵琶湖で開催されています。普及部門では自律航行ではないクルーレス・ソーラーボートで、25mプールの直線タイムを競います。先端技術部門では、GPSによる自動操舵システムを持つクルーレス・ソーラーボートで、琵琶湖を舞台に約20kmのタイムを競います。



荒波でも力強く走る秀次丸Ⅱ